

ハラールや菜食 多様な料理提供

叡啓大学食オープン

叡啓大(広島市中区)

は1日、キャンパス内に食堂をオープンした。写真。新型コロナウイルス禍の2021年4月に開学して2年が過ぎ、学生が増えたのを機に始めた。健康面のサポートのほか、さまざまな国籍の学生の食文化に合わせた料理も提供している。

メニュー表には、豚肉を使わないハラールや動物性食材を除いたビーガン料理にマークを付けている。日替わりランチ(440円)やカロリーを抑えたヘルシーランチ(同)



が並ぶ。2年の妹尾美季さん(20)は「手頃な値段で野菜も食べられる」と喜んでいった。

利用は学内関係者に限り、将来的には一般開放も検討する。下崎正浩事務部長(58)は「学生の交流の場にもなっしてほしい」と話す。